

**石見銀山遺跡の歴史的建造物**

1. 史跡	
国史跡：代官所門長屋、渡辺家、西本寺山門、豊栄神社、極楽寺、佐毘売山神社	6件
県史跡：青山家、栄泉寺、金森家	3件
2. 重要伝統的建造物：武家、町屋、寺社など	
大森銀山地区（工作物、環境物件除く）	264件
温泉津地区（工作物、環境物件除く）	124件
3. 市指定文化財	4件
河島家、宗岡家、勝源寺本堂・四脚門、清水寺	
4. 県史指定文化財	7件
城上神社、阿部家、三宅家、旧岡家、高橋家、柳原家、恵比須神社	
5. 重要文化財	1件
熊谷家住宅	



重文：熊谷家住宅 (H13~17修理)  
享和元年(1801)



寛政元年創建(1789)  
県指定：阿部家 (H14修理)



国史跡；渡辺家住宅(修理前)



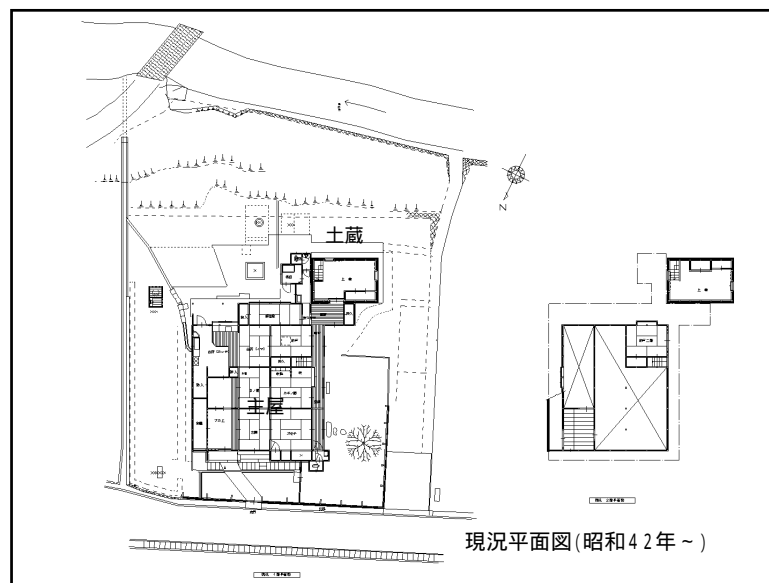




### 石見銀山代官所地役人遺宅 渡辺家（旧坂本家）

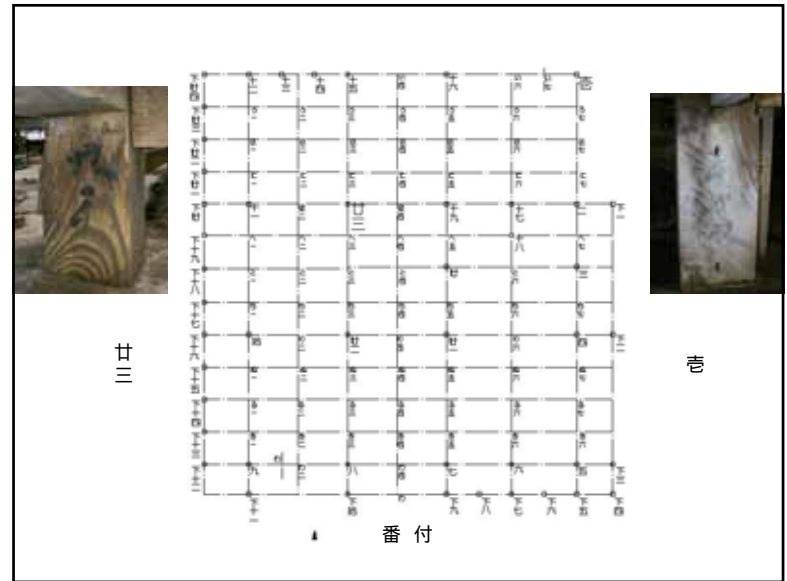
1. 実測調査
 

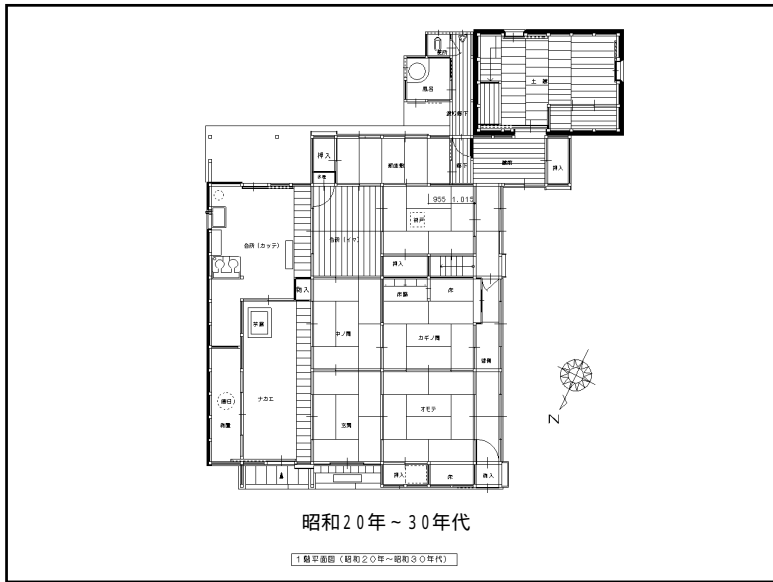
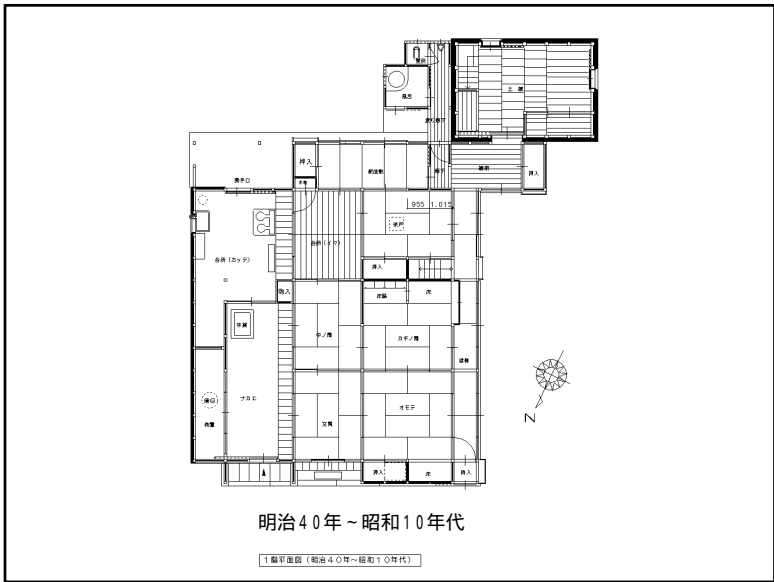
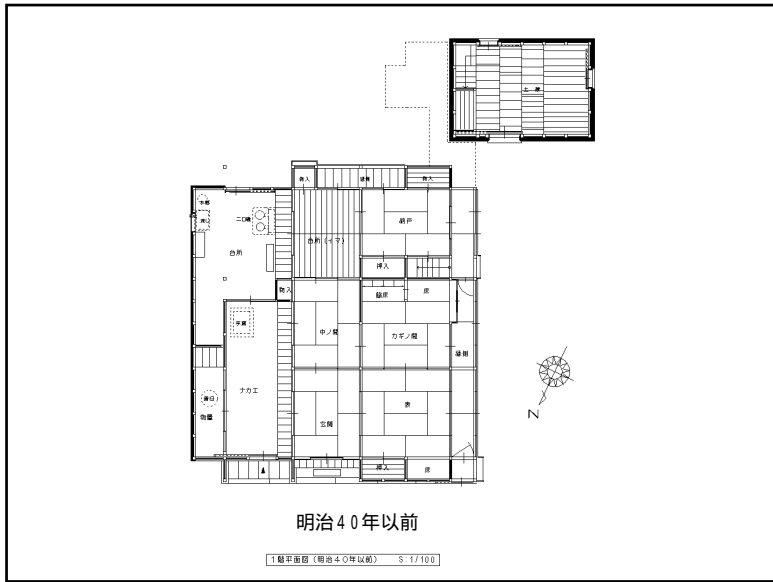
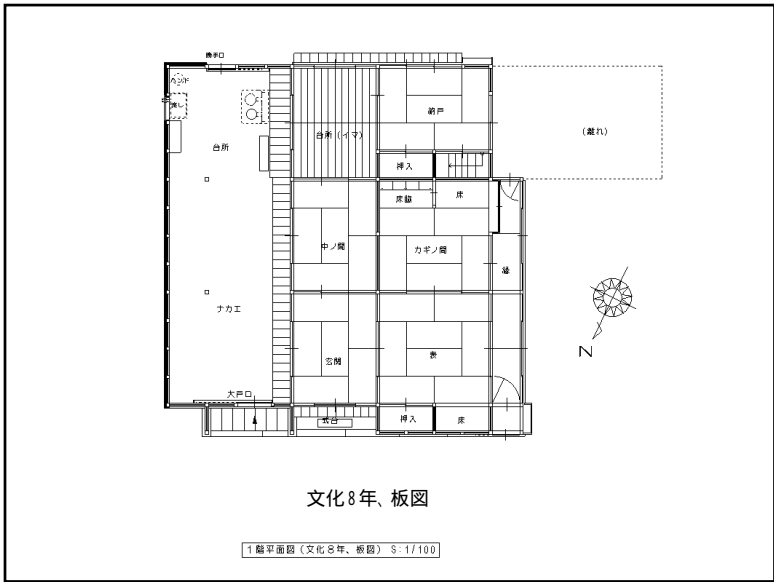
建物	主屋 木造瓦葺平屋建	延床面積	225.74㎡
	土蔵 土蔵造瓦葺2階建	延床面積	47.04㎡
土地	大田市大森町二4番地3	宅地	713.35㎡
	大田市大森町二4番地4	山林	231.00㎡
2. 痕跡調査（現況、解体）  
 板図により文化8年（1811）の創建。その後、主に納戸や新座敷、蔵前、風呂便所付近の増改築が数度行われ、昭和42年の大修理が最後である。
3. 文献、聴取り調査  
 初代坂本清兵衛は石見出身。慶長9年、初代奉行大久保石見守に召し抱えられ、以後8代厚兵衛まで世襲。平均30俵2人扶持、運上役、極印所などを勤めた。明治40年渡辺氏に譲渡され、平成17年に大田市に寄贈。渡辺氏からの聴取りや古写真などで近年までの建物の変遷を概ね確認できた。
4. 発掘調査  
 台所や上便所の地下遺構を発掘により調査したが不明な部分が多かった。浄化槽設置のための発掘で江戸初期の遺構とされ位置を変更した。活用施設の基礎にかかると石垣はそのまま残す工法で行った。
5. 修理方針  
 庄屋出身の渡辺氏が所有するも地役人遺宅の様式を大きく変えることなく今日に伝えていることから現状修理を基本に戦後の改造を撤去し武家住宅として復原修理した。









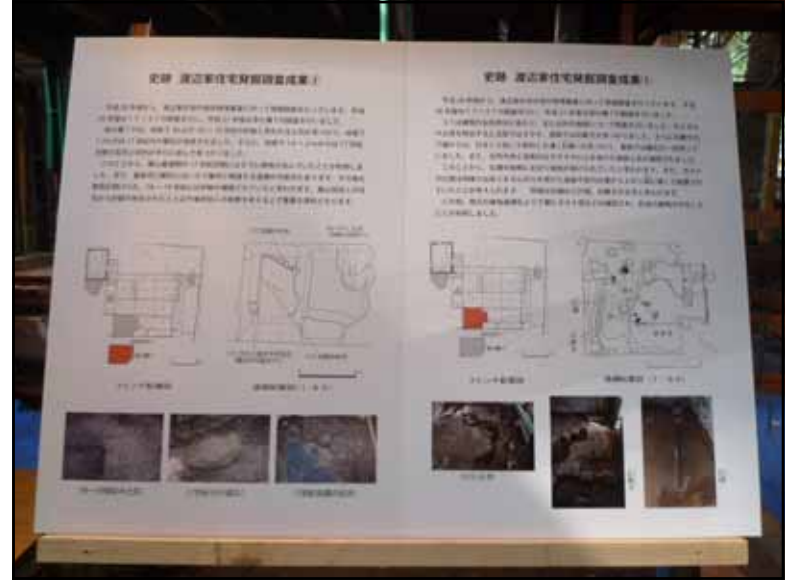




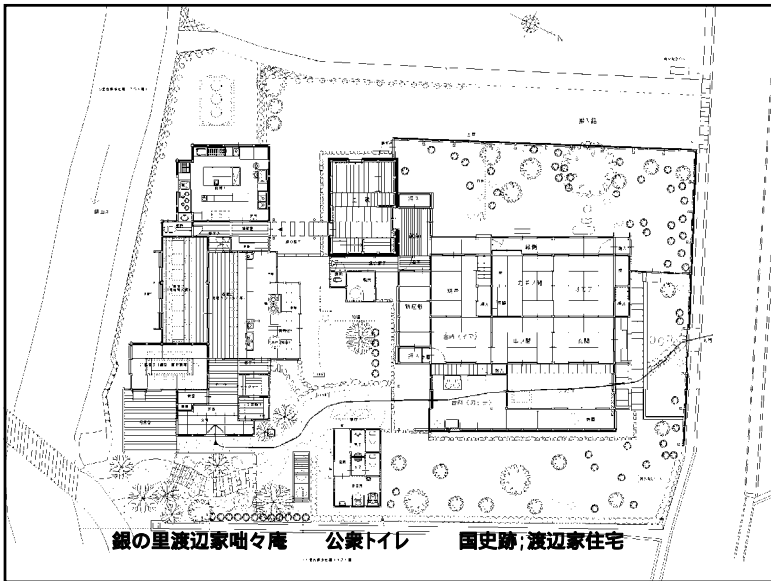








国史跡；旧渡辺家住宅 H22年3月竣工





銀の里渡辺家  
咄々庵



## 石見伝統建築文化研究会 ( I T A C 研究会 )

### 発足の主旨

保存地区内の伝統的な建物の保存修理・活用に積極的に関わるだけでなく、石見の広範囲に存在する歴史的に貴重な建造物にも目を向けて調査しその歴史的な価値を認識し修理保存できるように働きかける。そして建造物の調査、保存修理していくための建築士や職人などの建築技術者の育成をはかる。

### 事業展開（会則より）

- (1) 石見地域の歴史的景観と歴史的建造物等の調査・研究、それらを保存・活用する事業
- (2) 伝統的建築技術の継承と向上を図る事業
- (3) 後継者を育成する事業
- (4) 調査・研究成果の発行と講演及び見学会等を開催する事業
- (5) 前各号の活動をする地域と交流する事業
- (6) その他、本会の目的達成のために必要な事業